

ニュースと解説

今秋、CIMに関する官民の取り組みを世界に発信

—第1回土木建築情報学国際会議(ICCBEI)で「JACICセッション」を開催—

1. はじめに

JACICnews2013年4月号でもご紹介したとおり、今年11月7・8日、東京国際交流館（プラザ平成）において、第1回土木建築情報学国際会議（ICCBEI）が開催されることになりました。これは、アジア各国が参加するアジア土木情報学グループ（AGCEI 会長：矢吹信喜大阪大学教授）が主催するもので、JACICもAGCEIにメンバーとして参画し、ICCBEIを成功させるべくサポートを行っています。その一環として、初日（11月7日）の朝、開会・基調講演（国土交通事務次官 佐藤直良氏）に引き続き、「JACICセッション」を行います。本稿ではこれについてご紹介します。

2. JACICセッションの概要

JACICセッションでは、国土交通省と民間が進めている「CIM」（Construction Information Modeling）について取り上げ、最新情報を世界に向けて発信することにより、建設情報分野における国際的な日本の存在感をアピールしたいと考えています。内容の詳細については調整中ですが、現時点での構想としては、全体をパネルディスカッション方式とし、国、学界、民間等でCIM推進の第一線で活躍しておられる方にパネリストとなっただき、現在取り組んでいることや今後の計画などについてショートスピーチや意見交換を行っていただく予定です。できれば海外からのゲストスピーカーにも加わっていただき、国際規格の動向や日本への期待についても語っていただければと考えています。

ICCBEIは原則英語で行われますが、基調講演とJACICセッションは同時通訳を入れることにしていますので、「CIMの最新情報は欲しいけど、英語は苦手なので…」という方も奮ってご参加ください。基調講演とJACICセッションのみの参加方法も検討中です。詳細が決まりましたら、改めてJACICnews誌上でご案内いたします。

3. おわりに

CIMについては、JACICnews2013年5月号でもご紹介したとおり、JACICをはじめ11機関が参加するCIM技術検討会の平成24年度報告がまとまる一方、国土交通省においても昨年度実施した11のモデル事業の成果を受けて、今年度新たな展開が図られる予定です。11月のICCBEI、とりわけJACICセッションではその最新の動向を踏まえた実りある議論が交わされることを期待しています。



会場の東京国際交流館の状況

なお、AGCEIでは、ICCBEIの参加者とスポンサーを募集中です。詳細はICCBEI2013のホームページをご照会ください。(URL <http://www.iccbei.com/>)

(経営企画部長 川嶋直樹)